

## 政務活動費活動報告（研修）

- (1) 研修名：第13回地域医療政策セミナー、自治体の今後の課題と切り込み方
- (2) 参加者：夢みらい 赤井 康彦
- (3) 日時・場所：平成29年10月26日（13時～）、27日（10時～）

### 【1. 研修目的】

本市においては、彦根市立病院は地域の拠点病院ではありますが、問題は多々あると感じております。今回、全国の病院の経営等を学び、今後の彦根市立病院経営体制の考えを自分なりに整理しておくために研修参加をいたしました。

また、2日目においては、人口減少時代の中で自治体の今後の取り組むべき課題について学び、彦根市に活かして行きたいと思い参加いたしました。

### 【2. 結果報告】

#### (1) 内 容

美濃市立美濃病院の経営再建のアプローチとその成果

坂本研一（美濃市立美濃病院 病院長）

医療・介護の本当の姿とは

森田洋之（南日本ヘルスリサーチ 主催者）

自治体の今後の課題と切り込み方

小川明彦（元大阪市公募区長、元岩手県職員）

#### (2) 考 察

1日目の病院経営の講演においては、彦根市立病院との違いの認識ができた。まず、地元の医師会との関係が全く違い、連携が取れているように感じた。1件1件開業医の自宅を訪ね連携に対する思いを伝えたり、病院での医療器具を地元医師会も使用できるようにするなど院長の努力と強い危機感からの思いが伝わってきた。また、二人目の森田医師の講演では、実際に財政破綻した夕張市の病院に勤務した経験と国の医療への考え方から今後のあるべき姿を聞きました。病床数を減らしていく国の施策に対し、患者の生きる喜び、自分らしく死んでいく喜びを大切にすることを語り、地域の医療連携の必要性を訴えておられました。病床数雨の減少に伴い医療費は、減少していくが介護費は上がっていくことが予想されるが終末医療のあり方と患者となる者の考え方を今後は少しずつ変わっていかないといけないと思い、彦根市も地域の医療連携。介護の連携が進んでいる中でとても有意義な話であると感じました。

2日目の自治体の今後の課題と切り込み方では、元公務員という経験から役所の改革をしていかねばならないと強調されていた。従来の役所は、ルールドライブと言われる三角形の形をした報告形態でこれまでの軍隊と同じであったが、これからは下のものが独自に判断し上司が信頼と覚悟を持って部下に任せるミッションドライブ方式に転換の必要性があるとされた。その上で中間部門の人員整理が必要であるとの見解を述べられていたが我が市で中間管理職の人員削減をすることは、かなりの抵抗が有ることだと感じる。また、

従来のプロダクトアウト的な生産者の考えではなく、マーケットイン的な考えに変換することが必要であり、市の職員の意識改革を始めなければならないと強く感じた。